

新潟大学 遺伝子倫理審査委員会 オプトアウト書式

①研究課題名	免疫ペプチドミクスによるがん種横断的な抗原スクリーニングと反応性 T 細胞解析
②対象者及び対象期間、過去の研究課題名と研究責任者	
対象：1990 年 4 月 1 日から 2026 年 3 月 31 日まで札幌医科大学附属病院または試料提供機関において生検あるいは外科的治療を受けた消化器がん（大腸がん、胃がんを含む）、泌尿器がん、頭頸部がん、婦人科がん、皮膚がん、肺がん、血液がん、骨軟部腫瘍の患者さんのうち、札幌医科大学附属病院自主臨床研究「がん組織を用いたネオアンチゲンスクリーニング」（研究責任者：金関貴幸）に参加された方。	
③オプトアウトの概要	
本研究では、上記②に当てはまる対象者の試料と情報（⑧参照）を使用させていただきます。もし研究への参加を望まない場合は、本人の自由意志でいつでも参加を断ることもできます。下記のお問い合わせ先へご連絡ください。参加を断った場合に診療などで不利益を生じることはありません。	
④申請番号	
⑤研究の目的・意義	患者さんの免疫システムはひとつひとつのがん細胞を区別することができ、優れた能力を持っています。しかし、何を目印にがん細胞を区別しているのかよくわかっていません。本研究では、免疫ペプチドミクスと呼ばれる新しい解析技術を使い、がんの種類毎にそのような目印の正体を見つけていきます。研究成果は、例えばがんワクチンなどの今までにない新しい免疫治療の実用化につながる可能性があります。
⑥研究期間	倫理審査委員会承認日から 2030 年 3 月 31 日まで
⑦情報の利用目的及び利用方法（他の機関へ提供される場合はその方法を含む。）	試料と情報および研究結果を共同研究機関あるいは外部の委託機関に提供し、解析することがあります。また研究データを公共データベースなどに登録することがあります。研究の結果を学会や論文あるいは医学雑誌などで発表する可能性があります。いずれの場合も、あなたの個人情報（名前や住所、電話番号など）に係わる情報を切り離して匿名化した状態で使用しますので、あなたの個人情報が公表されることは一切ありません。
⑧利用または提供する情報の項目	生検・手術・穿刺等の診療の際に採取した組織の一部、血液、診療記録、検査データ（⑦参照）
⑨利用する者の範囲	新潟大学医学部分子病理学分野 金関貴幸（責任者） 新潟大学附属病院皮膚科 阿部理一郎、斎藤勇輝 共同研究機関：札幌医科大学、国立がん研究センター研究所、名古屋大学、近畿大学、京都府立医科大学、岡山大学、千葉県がんセンター、札幌道都病院、イムス札幌消化器中央総合病院、旭川厚生病院、手稲溪仁

	会病院、Netherlands Cancer Institute（オランダ）、HUN-REN Biological Research Centre（ハンガリー）
⑩試料・情報の管理について責任を有する者	新潟大学医学部分子病理学分野 金関 貴幸 共同研究機関：札幌医科大学（高田 弘一）、国立がん研究センター研究所（吉見 昭秀）、名古屋大学（松本 有樹修）、近畿大学（垣見 和宏）、京都府立医科大学（辻川 敬裕）、岡山大学（富樫 庸介）、千葉県がんセンター（河津 正人）、札幌道都病院（秦 史壯）、イムス札幌消化器中央総合病院（松本 哲）、旭川厚生病院（堀 寛太）、手稲溪仁会病院（下田 直彦）、Netherlands Cancer Institute(Wouter Scheper)、HUN-REN Biological Research Centre (M á t é Manczinger)
⑪お問い合わせ先	本研究に対する同意の拒否や研究に関するご質問等ございましたら下記にご連絡をお願いします。 所属：新潟大学医学部分子病理学分野 氏名：金関貴幸 Tel：025-227-2102 E-mail：takayuki.kanaseki.med@niigata-u.ac.jp